

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月13日 ,

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102807
法 人 名	有限会社 メイザン・メディカル
事 業 所 名	グループホーム いこいの泉
所 在 地	鹿児島県鹿児島市泉町9番5号 (電話) 099-805-3592
自己評価作成日	平成22年3月31日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NP0法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県 鹿児島市 星ヶ峯四丁目 2番6号
訪問調査日	平成22年4月28日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- ・入居者が型にとらわれず自由きままに生活している。
- ・その人らしく生活している。
- ・できてもできなくても、その方の思いを大事に、可能な限り計画実現に向けて取り組んでいる。
- ・今年、入居者から「桜島1周旅行がしたい」の声で計画中。
- ・近隣の公園で、浴衣を着て線香花火で楽しむことを計画中。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

- ・地域交流の取り組みは、保育園児の訪問や 婦人学級等に参加し、熱心に取り組みをしている。
- ・運営推進会議は、家族が交代で参加している。また、全職員が内容を共有できるように工夫されている。
- ・家族への報告は、面会時には、声かけを行うとともに、個々に健康状態や日々の暮らし等も、定期的に報告を行っていて家族との信頼関係ができている。
- ・一人ひとりの思いや意向を会話の中から把握するよう努めており、記録し全職員が共有できるように工夫している。
- ・管理者・職員は、チームワークが良く連携を取り合いながら、ケアの向上に取り組んでいる。
- ・協力医療機関が隣接しており、緊急時や急変時対応にも十分に備えができる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事あるごとに地域の中で生活させて頂いているということを勉強会や申し送り時に触れて、共有につなげている。	管理者・職員は、ミーティングや申し送り時に、理念を確認・共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣とのつながりは限られているものの美容院や酒屋等との交流を大事にして活用している。	地域の公園での散歩や買い物時のあいさつ・保育園児との交流・婦人学級への参加等、日常的に交流を行うよう努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を活用して、理解を深め、当ホームでの取り組みを伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自己評価を踏まえ、外部評価での助言を報告して、家族や第三者の意見を聴いて話し合って意見を参考にして改善に取り組んでいる。	会議は、評価の取り組みやホームの状況を報告し、話し合いながらサービスの向上に活かしている。家族は交代で参加している。職員は内容を共有しサービスの向上に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	先ず、顔を覚えて頂けるように用件のある課ばかりではなく、お世話になっている課にも声をかけるように心がけている。	市担当窓口に出かけて行き、季刊誌を届けたり、報告や相談をしている。共に連携を取りながらサービスの向上を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止推進委員が各ユニット2名ずつおり、身体ばかりではなく心の拘束を含めて、言葉遣いで？？と思ったりしたことを記録し、検討する時間を設けている。	身体拘束廃止推進委員をユニット毎に置き、身体・言葉の拘束にも気をつけている。声かけに配慮しながらケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	任意団体での研修の参加を行い、自らのホームでの振り返りとして参考にしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要に応じて勉強会に取り入れている。又、今年はキャリア形成事業を活用していきたいと思い検討中		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前に事前に来訪して頂き、説明している。大事な事項に関しては詳しくしているつもりです。			
10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族は意見や要望は言いにくいということを念頭におき、ご意見箱を作ったり面会時の会話から拾い上げている。	意見箱を設置し、意見や要望・苦情などを把握するように努めるとともに、利用者には、個々に意見や要望を聞いている。面会時に声かけを行い、話の中から意見や要望を引き出すように努め、運営に反映させている。		
11	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営に関する事を含めて、年1回自己評価を行い代表者との面談を設け最後に管理者が面談をして頂いて改善を図れるようにしている。	管理者は、日常的に職員の話をよく聞いている。独自に年1回、自己評価を行い、施設長と面談して、意見や提案を運営に活かしている。		
12	○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	面談時に来年の抱負をあげてもらい、実現できるようにしている。管理者は代表者に相談しやすいので、必要に応じて助言頂いている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	最低年1回はホーム外研修に参加できるようにと研修計画を立て参加して頂いている。			
14	○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	任意団体への入会で事業者同志のネットワーク作りを図り、職員は良い点は取り入れ、悪い点は改善できるように取り組んでいる。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

## II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	馴れている入居者より係わる時間を多くもっている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	何に困っているのか？先ず聴いてわかりやすく説明してそのままではなく、こちらからも血などで声をかけている。		
17	○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	予約いっぱいであっても、見学・来訪・血等説明して空いている事業所やその方にあったサービスは何か考え紹介している。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	時に流れ介護しているという感じになってしまうことがある。主体は入居者であり、協働するように折りに触れ、声かけあいながら関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人を支えるのはご家族であり、私達であること。家族にはなれないが、家族のようにはできるので面会時によく話したりしている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで親しくしてきた方の情報も聞いて、 <u>℡</u> の利用やホームへの来訪につなげている。又、職員はその方が誰なのかも把握している。	本人・家族との会話の中から、馴染みの場所や友人等の関係を把握している。その情報により、訪問したり来訪してもらったりして、関係が継続できるよう支援を行っている。
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個性の強い人々なので難しいと思うことも多々あるも、私達が間に入り、お互い誤解が生じないようにいい関係を保てるようにしている。	
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	せっかく頂いたご縁なので大事にしたいという思いがあり、必要に応じて声かけさせて頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人の意志や言動を記録に残し、職員間で情報共有しその人の思いを把握するよう努めている。困難な場合はゆっくり話を聞いたり管理者と話し合い検討している。</p>	<p>会話の中から思いや希望を聞いている。個人ファイルに記録し職員が共有している。困難な人は、本人本意に家族に相談したり職員と検討している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>教えて頂ける範囲で情報収集を行い、記録して深めている。特に面会時の家族からの情報は大切にし、把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>各個人異なるので、職員同志会話の中で「今日は大丈夫かも」と尋ねながらできることにつなげている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人の言動を基に記録して、職員や本人・家族の情報を取り入れて全員参加できるように工夫して時間を掛けて作成している。</p>	<p>日々の暮らしの中で利用者のケア記録をもとに、本人・家族・職員が話し合いを行い、意見を出し会いながら、介護計画を作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その日の入居者の言動を中心に記録している。又、プランに基づいた記録ができるよう4月から用紙を変更してお試し中			
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員自身も柔軟な考え方や実践を求められる。多方面から物事考え他のサービスにもつなげている。			
29	○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察・消防等協力支援体制がある。又、協力医療機関との連携も。安心、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。			
30 11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当ホームの協力病院にかかわらず他病院でも医者へ上申書に当ホームの様子を記入して今までのかかりつけ医が継続できるように連携を図っている。	本人・家族が、希望するかかりつけ医の受診を支援している。ホームからの紹介状を持って家族が受診に付き添っている。協力医療機関やかかりつけ医と連携を取りながら支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況
31		<p>○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護ステーションとの連携は図れている。又、協力病院は歩いていける距離にある。夜間の緊急時は当直看護師が当ホームに来訪して下さる。	
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入居者により主治医が異なるので、相談員に間に入ってしまっている。家族とも来訪時ばかりでなく直などで報告し、状態把握の共有を図っている。	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく</p>	看取り介護に対する指針を定めている。入居時に簡単に説明して、その方に応じてその都度家族の思いを確認して、その旨を職員間で共有している。	重度化・看取りの指針ができるており、職員は共有している。入居時に説明している。状況に応じて、本人・家族と協議し、その都度思いを職員は共有し支援している。
34		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています</p>	マニュアル化している。また、月1回事例検討を開催したり・はっとを基にして劇を行い、緊急時の対応に結びつけています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は年2回行っている。火災をはじめ地震などを設定し行っている。今後は規定の年2回ではなく自主訓練を検討中	訓練は、年2回昼夜間想定で行っている。自主的に回数を増やして訓練を行うことを検討中である。協力医療機関との連携、地域との協力体制も取れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人ひとりの人柄・誇りを知って対応する。言葉のトーンには気をつけてプライバシーを損ねない声かけをしている。人生の先輩として尊敬した言葉かけに心がけている。</p>	<p>一人ひとりの接し方や声かけに、充分気をつけ、誇りやプライバシーを損ねないような対応を行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>「日が長いから仕事をしたい。」といって、食材のこしらえや洗濯物たたみ等や自らの歩行訓練をされている。「コーヒー飲みに行きたい。」「〇〇を食べたい。」等、皆さん生き生きされている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個人の性格、生活リズムに合わせている。本人のペースを守り共に楽しむようにしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>容姿、服装、言葉づかい、態度に対する声かけをしている。乱れている方に罵声をとばす入居者、その方から言われる前にさりげなく声をかけ身ざれいにしている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>メニューの説明、献立の相談、味見をして頂いて良い刺激をしている。一緒に買い物に行ったり、盛りつけ、自主的参加で職員と共にしている。</p>	<p>食材の準備・配膳・下膳・片付け等、職員と利用者が一緒に行っており、食事が楽しみになるよう支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各個人水分・食事・現病歴等を考えて、栄養バランスを意識している。			
42	○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実行している。出来ない方にはお手伝いし、義歯の方には洗浄剤について清潔保持に努めている。			
43 16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	さりげなくトイレ誘導して自立に向けて支援している。排泄チェックを参考にしている。腹部マッサージやウォシュレットで刺激して排便を促している。	一人ひとりの排泄パターンや習慣を職員が理解しており、さり気なく声かけを行っている。排泄の自立に向けての支援を行っている。		
44	○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ホーム手作りのヨーグルトを1日1回食べている。葉ばかりに頼らず適度な運動や氷水等の工夫を個人別に行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々に応じた入浴の支援している	ゆっくりと時間をかけて入れるよう毎日沸かしている。そうすれば入りたいときに入れるので・・・・	毎日入浴できるようにしている。利用者の希望やタイミングに応じていつでも対応できるようにして、入浴を楽しめるように支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自室に限らず和室のソファにゴロッとされたりしている。又、テレビを見ながら・・眠つたりと様々・・・		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人のファイルに内服状況を(副作用など記してある)綴じていて、いつでも見れるようにして協力病院の薬剤師からの助言や相談もしやすい状況にある。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月1回、日1回はその人の輝く時間が(どんな形であっても)あるようにお手伝いしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日や希望のある時は外出している。又、個人の能力にあわせて外食もしている。外出拒否傾向にある方は玄関先だったり、又、ご家族の協力を頼いている。	日常的に外出の支援を行っている。地域の公園での散歩や買い物に出かけたり、行きたい所の希望を聞いて計画したり、外食や物産展等にも出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の力量に応じて対応している。外出時の買い物の支払いも行って頂き見守っている。必要に応じて預かり金から出している。			
51	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙を書きたい、電話をかけたいの要望にその都度支援しているがハガキや切手がないこともあるので予備をストックしおきたい。			
52	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々に花を飾ったり季節感を味わえるようにしている。不必要的音（雑音につながる）は控えたり、室温・湿度にも気をつけている。	居間にはコタツがあり、くつろいでテレビを見ている。リビングには、季節の花や利用者の作品が掲示され、明るく広い共有空間は居心地よく過ごせる工夫をしている。		
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	和室にくつろげるソファがあり、各自自由にされている。相性の合う者同士会話が弾んだり、笑い声が聞かれる。職員との会話を望んでいらっしゃる方もいる。自室で新聞読んだりと独りをくつろぐ方もある。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力で馴染みの写真・家具・装飾用品に観葉植物が持ち込まれている。好みの物など相談しながら居心地よい暮らしの工夫につとめている。	仏壇・テーブルセット・手づくりの作品・写真等、使い慣れたもの、好みの物等を活かして、本人が居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	物をつたって歩いたりと工夫されている。手を出しすぎず、できない・分からぬことに対してのお手伝いやその日の体調を考えて自立に向けている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

60	<p>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。          (参考項目：49)</p>	<input type="radio"/> 1 ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4 ほとんどいない
61	<p>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。          (参考項目：30, 31)</p>	<input type="radio"/> 1 ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4 ほとんどいない
62	<p>利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。          (参考項目：28)</p>	<input type="radio"/> 1 ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4 ほとんどいない
63	<p>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。          (参考項目：9, 10, 19)</p>	<input type="radio"/> 1 ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	2 数日に 1 回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
		<input type="radio"/>	4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない